

とさしおのみちほぞんかいかみしぶ



土佐塩の道保存会香美支部

時代とともに消えていた古道をウォーキング道として甦らせ
地域活性化に貢献しています

●土佐塩の道とは

いにしへの時代から、海辺の塩の生産地と山間部の奥地をつなぐ交易道は「塩の道」と呼ばれ、生活物資などの運搬道としても利用されていました。香南市赤岡町から香美市物部町まで約30kmのルートは、長きに渡り人々の生活を支えてきた命の道でした。時代と共に消えた「道」は、平成14年から周辺住民らによる再生整備が進められ、平成16年には（一社）日本ウォーキング協会が選定する「美しい日本の歩きたくなるみち500選」にも選ばれました。その後、新日本歩道紀行文化の道100選、香美市有形文化財、文化庁「歴史の道百選」に選ばれた伝統が受け継がれ続けている道です。

●ウォーキングツアーイベント開催



●コース上には歴史遺産が遺っています

数々の歴史遺産に認定されました



土佐塩の道20周年記念

2004年「美しい日本の歩きたくなる道500選」に選定される
2014年「香美市保護有形文化財」に指定される(香美市内)
2015年「新日本歩道紀行100選文化の道」に認定される
2019年「歴史の道100選」に文化庁が認定される

高知県立山崎高等学校教育委員会 2021年10月吉日

道と文化を次世代へつないでゆくために、ウォーキング受入れ、ツアー、イベント開催をして関係人口創出を目指して、地域に貢献しています。

寄付金の使い方

整備資金、運営体制の強化のために活用します

課題は高齢化、次世代継承

●道を維持する活動「整備作業」

道を活用するためには、整備作業は必須です。年間約150~200人役におよぶ、草刈りや土止め、橋の架け替え補修など、重労働により保たれています。保存会員の高齢化の課題を、地元の大栃中学校の生徒や、陸上自衛隊高知駐屯地の隊員の皆さまがボランティア支援をして支えてくれています。



道しるべの丁石

旅人を見守る馬頭観音



自衛隊員によるボランティア整備支援



●土佐塩の道保存会香美支部

香美市物部町大栃1390-1 (香美市役所物部支所内)

TEL 0887-52-9339 FAX 0887-58-3110

E-mail m-shimin@city.kami.lg.jp 担当：近藤